

令和3年度 第2回 伊勢市障害者施策推進協議会 結果概要

開催日時	令和4年3月17日（木曜）19時00分～20時10分
開催場所	御菌公民館講堂
出席委員	宮崎 吉博 会長、斎藤 茂 副会長、河之口 学 委員、大杉 成喜 委員、 嶋垣 智之 委員、中森 忠司 委員、三宅 浩 委員、溝井 力 委員、 金子 直由 委員、成瀬 和久 委員、田垣 実 委員、前田 麗子 委員、 中本 龍二 委員、浅尾 賛平 委員、中村 稔 委員、高原 孝祐 委員、 越知 ひとみ 委員
事務局	高齢・障がい福祉課長・障がい福祉係長、 健康福祉部参事兼福祉生活相談センター長・総合相談係長・職員1名、 こども発達支援室長、学校教育課副参事
傍聴者	3名

1 地域生活支援拠点等の進捗状況について

事務局より、地域生活支援拠点等の進捗状況について説明。

(委員からの意見等)

- ・ 資料1-2に「高校生を受け入れる場合、どこが責任を負うのか」とあるが具体的に教えてほしい。
⇒特別支援学校高等部の学生をGHの体験利用で緊急的に受け入れたケース。制度に乗らない緊急時対応の課題があげられている。
- ・ 地域生活支援拠点に関する市民への理解が十分にされていない状況。緊急時支援の定義については、市民が容易にイメージできるものをつくらなければならないと感じる。
- ・ 半田市の取り組みで緊急時支援に老人ホームを利用できるが、どのような手続きを踏めば可能となるのか教えてほしい。
⇒市の要綱に基づき事業所と協定を結び実施している。
- ・ 地域生活支援拠点への障がいのある児童を持つ保護者からの期待が大きいため、取り組みの進捗状況の情報がほしい。
⇒いただいたご意見を踏まえて今後周知していく。

2 部会報告

自立支援部会長より、資料2に基づき、人材確保・養成チーム、就労支援チーム、医療的ケア推進チームの進捗状況について説明。

(委員からの意見等)

- ・ 計画相談事業所が不足しているため、計画がつかず福祉就労ができないといった状況を聞いている。セルフプランの利用はできないのか？
⇒確かに計画相談事業所の資源は不足しているが、計画がつかずサービス利用が

できないという事例は現状では無いことを確認している。また、セルフプランについては、本人の希望があれば対応する。ただし、モニタリングが実施されないなどのデメリットがあること、国からも計画相談の体制整備に向けた努力をしないまま安易にセルフプランへと誘導することを慎み、まずは利用者のために計画相談をつける案内をすべきであると言われていた。市内社会福祉法人を訪問させていただき、計画相談事業所の立ち上げを検討いただくようお願いしてきた。各委員においてもご理解ご協力をお願いしたい。

- ・ 障がい者雇用について、ハローワーク伊勢圏内の障がい者雇用率は令和2年から令和3年にかけて県内最大の伸びがあった。
- ・ 障がい者就労については、高等学校進路指導担当とも連携し、取り組みを進めたいと考えている。
- ・ オンラインの求人サイトやWeb面談などIOTを活用した取り組みが求められる。

(相談支援ネットワークグループへの発展について)

- ・ 現状のネットワーク会議を伊勢市障害者施策推進協議会 自立支援部会 サービス事業所等連携会議 相談支援系部門として位置付けることに承認いただきたい。
⇒上記の件について承認。

3 その他

- (1) 令和4年度 伊勢市における障害者就労施設等からの物品等の調達方針
事務局より、令和3年度実績及び令和4年度の発注見込み、それらに基づく令和4年度の調達方針について説明。
⇒上記の件について承認。
- (2) 合理的配慮の提供を民間事業者に義務付ける改正障害者差別解消法
事務局より説明。
- (3) 障害者虐待防止の更なる推進
事務局より説明。
- (4) 共生型サービス施設の開設
事務局より、小俣町にて「児童発達支援」、「放課後等デイサービス」及び18歳以上の人が通所する「生活介護」サービスが実施される共生型サービス施設の整備が今年度完了することを紹介。4月16日・17日には内覧会が開催される予定。
- (5) ショートステイクじらについて
事務局より、伊勢市重度身体障害者デイサービスセンターくじらの2階で短期入所事業「ショートステイクじら」が4月から開始されることを紹介。伊勢市社会福祉協議会にて施設整備が行われ、6床の利用が可能。

会議の結果概要については、事務局にて取りまとめ、会長に確認していただき、一任いただくことで了承を得る。